

奨学金出願の注意事項

この奨学金は、全出願者を一括取りまとめて団体へ推薦するものです。
出願に際しては、下記の事項に十分留意し、募集要項は必ず熟読し、書類不備のないようにしてください。

記

奨学金名	一般財団法人 守谷育英会
出願期限	4月15日(水) 締切厳守
出願窓口	奨学課／都心学生生活課／茗荷谷スチューデントハブ
採否の決定	書類審査通過者については2次面接(6月15日(月)～6月19日(金)予定)の通知があります。面接審査の結果は、6月下旬頃団体から各人・大学に書面で通知。
出願書類 * 印は団体の 所定用紙	<p>①学外団体奨学金出願用申請書(大学所定用紙)(表面のみ)</p> <p>* ②奨学生願書 (4月1日以降の日付で作成すること)【様式1】</p> <p>* ③参考資料【様式2・様式3・様式4】</p> <p>④成績証明書 新入生は入学する前に卒業した学校の成績証明書(調査書可) 在学生(大学院生除く)は在学校の成績証明書 学部編入生は在学校の成績証明書と編入前の学校の成績証明書 修士課程新入生:学部の成績証明書 修士課程2年生:学部の成績証明書と前年度の成績証明書の2通 博士課程新入生:学部の成績証明書と修士課程の成績証明書の2通 博士課程2年以上:学部の成績証明書、修士課程の成績証明書及び博士課程の成績証明書の3通</p> <p>⑤在学証明書 (2026年4月以降発行のもの・コピー不可)</p> <p>⑥父母あるいは主たる家計支持者の前年の所得証明書 給与所得者:2025年分の源泉徴収票(コピー可) 給与所得以外:税務署等による2025年分の所得を証明するもの(コピー可)</p> <p>⑦指導教官または主任教授の推薦書 2通 全文自筆・書式自由・親展・英文可。応募者本人の閲覧不可。但し、英語以外の言語の場合は訳文添付。学部新入生は卒業した高校の先生又は親族以外の方にお問い合わせください。</p> <p>⑧写真1枚 願書貼り付け(裏面に氏名記入) 6ヶ月以内に撮影した上半身、正面、無帽、縦4.5cm×横3.5cm</p> <p>⑨修士・博士課程に在籍する学生で、学会に提出した論文があれば提出 A4用紙1枚に詳細(論文提出日・タイトル・学会名・第一筆者かどうか)を記載</p> <p>⑩住民票の写し(※外国人留学生のみ提出が必要)</p> <p>★ 募集要項は熟読すること</p> <p>★ 奨学課・都心学生生活課では推薦書は準備できませんので、必ず自分で上記のような推薦してくれる(本人の事をよく知る)人をお願いして用意ください。</p> <p>★ 推薦内容については学術優秀で奨学生としてふさわしいことはもちろんのこと、家庭環境・経済面等、奨学金を必要としている状況を詳細に記載していただくようお願いしてください。</p> <p>★ 推薦者のサインのみが自筆のものは認められません。</p> <p>★ 推薦書に、作成した日付、また推薦者と本人との関係を明確に記載して頂いてください。</p> <p>★ 本奨学金は併願・併給が可能ですが、他財団が禁止している場合があります。その理由で途中辞退をする学生がいるので、予め必ず願書の奨学金欄に明記してください。</p>

※ 問い合わせ先 学生部事務室奨学課(042-674-3461)

一般財団法人 守谷育英会
2026年度 奨学生願書

※書類作成上の注意事項

- 1 全文、応募者自筆のこと。
- 2 黒インク又は黒のボールペンで記入のこと。
- 3 年号は西暦を使用し、日本語で記入すること。
- 4 記入は、楷書及びローマ字活字体を用いること。
- 5 数字は算用数字（1, 2, 3, 等）を用いること。
- 6 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
- 7 所定用紙中のすべての欄に正確に記入し、該当事項がない場合は“なし”と明記すること。
- 8 未記入の箇所があるときは、選考の対象から除外される場合がある。

写 真
裏面に氏名記入のこと

6ヶ月以内に撮影した
上半身、正面、無帽、
縦 4.5cm×横 3.5cm
のものを貼付すること

しっかりと両面テープで
貼り付けすること

氏 名 生年月日 年 月 日 性別 男・女
フリガナ 年 齢 歳

氏 名 国 籍 出生地

※枠内は留学生のみ記入

NAME (Please underline surname)

IN NATIVE SCRIPT

IN ALPHABET

日本式の発音（カタカナ）

<パスポート>

番号

発行日

発行場所

<在留カード／在留資格>

No./番号

status/在留資格

交付年月日

有効期限

住所 〒 -

[実家(親族と同居)・一人暮らし・寮・ルームシェア・その他]

TEL: - - 携帯: - - メールアドレス:

家族住所 〒 -
(FAMILY ADDRESS)

TEL - -

在学学校（高校・短大・大学生記入） ※西暦で記入すること。

____年 __月 __日～ ____年 __月 __日 ____大学 [学校] ____学部 ____学年
(入 学) (卒業予定)

在学学校（大学院生記入）

____年 __月 __日～ ____年 __月 __日 ____大学 ____研究科 ____専攻 ____学年
(入 学) (修了予定)

[専門職学位・修士・博士] 指導教員名 _____

推薦書記載者 ※応募者が記入すること。

1人目 (学校名・会社名等) _____ (役職) _____ (氏名) _____

2人目 (学校名・会社名等) _____ (役職) _____ (氏名) _____

学歴 <在籍中のものから順に高校まで記入のこと> *留学生で兵役を終えた方は、兵役期間も記入ください。

(入 学)	(卒業・卒業予定)	(学 校)	(学部・学科)
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____年 ____月
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____年 ____月
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____年 ____月
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____年 ____月

職歴 <2ヶ月以上の不定期雇用(アルバイト)を含む職歴 最近のものから記入のこと>

_____年 ____月 ~ _____年 ____月	勤務先	職種
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	勤務先	職種

家族状況 全兄弟姉妹・同居祖父母を記入のこと

続柄	氏名	年齢	職業(学校名、勤務先・役職名)	税込年収※1	備考
本人					
配偶者					
子					
父					
母					

※1 単位：万円、留学生の家族収入は現地通貨にて記入

◎家族状況欄について記載上の注意事項

- ・死別の場合は年齢欄に「亡」と記入し、備考欄に享年と没年を「〇〇才/〇〇〇〇年」の通り記入。
- ・離別の場合は年齢欄に「離」と記入し、備考欄に年月を付記。
- ・父母が定年退職している場合は前職業を記入「前職:〇〇」。税込年収欄には現在の収入(年金、不動産等)を記入。
- ・兄弟姉妹が学生の場合は職業欄に学校名、学部(大学院生の場合は修士、博士別)、学年を記入。
- ・応募者本人が既婚の場合も自分の両親及び全ての兄弟姉妹を記入。(兄弟姉妹が既婚の場合も必ず記入)
- ・枠が足りない場合は裏面や別紙を使用。

奨学金 <過去の受給状況及び現在の受給、応募状況について全て記入のこと>

(受給期間)	(奨学財団名)	(制度)	(月額)	(応募 受給状況)	(併給)
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	(いずれかに○) 貸与/給付	_____万円	(いずれかに○) 応募中/受給中/完了	(いずれかに○) 可/不可
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可

・卒業時点での貸与奨学金の返済総額 _____万円

※過去に受給したもの、現在受給中のもの、これから受給が確定している貸与奨学金の返済額総額を記入ください。

・当財団に採用が決まった場合、他奨学金財団を辞退されますか？ (現在受給中並びに応募中のもの全てに関して)
 辞退する(財団名: _____) / 辞退しない

経済状況

・学費年額（入学金含まず、施設設備費等を含む） 円
 上記の内、学費免除額 円

・月額の平均収支

収 入		支 出	
アルバイト収入 円	職種（ ）	住居費 円	
仕送額 円	誰から（ ）	食 費 円	
他奨学金 円		図書費 円	
その他 円		交通費 円	
		その他 円	
収入合計 円		支出合計 円	

※月額の平均収支欄について記載上の注意事項

- ・応募者個人に掛かる月額収支額を記入のこと。自宅通学生は、住居費・食費等の負担額が無ければ0円で可。
- ・応募者が既婚の場合には、配偶者も含めた金額を記載すること。
- ・収入合計と支出合計は、同額にならなくても可。

誓 約

私は、貴財団募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用していただきたく申請いたします。申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、奨学金の支給を取りやめられても不服を申し立ていたしません。

一般財団法人 守谷育英会 御中

申請年月日： 2026年 ____月 ____日

申請者氏名： _____

印

※印鑑をもっていない方は、「印」に署名をすること。

身元保証人

※必ず記入してください。

※親族以外の方でも可(学生不可)。 ただし、保証人の自筆・捺印のこと。

※当財団は給付型のため、返済の保証人ではありません。応募者が当財団の奨学生として相応しいということを保証するものです。

保証人氏名 _____

印

本人との関係 _____

住所 〒 _____

TEL _____

職業（勤務先・役職名） _____

参考資料	氏名	
	在学学校・学部	

<次の質問になるべく詳しくお答えください>

1. あなたは学校生活において、どんなことを勉強したいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. この学校を選んだのはどうしてですか。

.....

.....

.....

3. あなたは卒業後、勉強したことをどのように生かしたいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

卒業後の進路予定 ○をつけてください。
 (就職・進学(学部/修士/博士)・その他 ())

<大学院生の応募者は次の事項も記入してください>

研究テーマ：.....

研究目的：.....

.....

.....

参考資料

氏名

[留学生用]

在学学校・学部

<次の質問になるべく詳しくお答えください>

1. あなたが日本に来て勉強しようとしたのはなぜですか。また、どんなことを勉強したいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. この学校を選んだのはどうしてですか。

.....

.....

.....

3. 卒業したら母国へ帰りますか。日本で勉強したことをどのように生かしたいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

卒業後の進路予定 ○をつけてください。
 (就職・進学(学部/修士/博士)・その他 ())

<大学院生の応募者は次の事項も記入してください>

研究テーマ：

研究目的：

.....

参考資料	氏名	
	在学学校・学部	

<学業成績について>

下記注意事項を参照の上、提出する成績証明書の、評価毎の**科目数**(単位数ではありません)を直近の年度から順に上から記入し、直近1年間に取得した成績を成績証明書にマーキングしてください。

※添付する成績証明書は、評価科目数記入のために開封したもので結構です。

① 高校・大学(学部生)等の成績証明書

☆添付する成績証明書が下記それぞれの年度と異なる場合、正しい年度に訂正して科目数を記入してください。

点数評価 (100点満点)	① 100点～80点	① の内、 100点～90点 の評価が 分かる場合 その科目数 を記入して ください。	② 79点～70点	③ 69点以下	
ABC評価 ※1参照	(S) (A A) A			B	C 以下
優良可評価	秀・優			良	可
5段階評価	5			4	3・2・1
科目数 (2025年度) ☆					
科目数 (2024年度)					
科目数 (2023年度)					
科目数 (2022年度)					
科目数 (2021年度)					
科目数合計 ※2参照					

② 大学院の成績証明書 ※大学院の成績は年度別に記入せず、合計のみ記入してください。

点数評価(100点満点)	100点～80点	79点～70点	69点以下
ABC評価 ※1参照	(S) (A A) A	B	C 以下
優良可評価	秀・優	良	可
5段階評価	5	4	3・2・1
科目数合計 ※2参照			

<注意事項>

※1 科目数を数える際には、点数評価を基準に行ってください。

例 ABC評価でA=100～90 B=89～80 C=79～70 D=69～60 F=未取得という点数配分の成績証明書の
場合でも、上記表の中の**点数評価**に従い科目数を記入してください。

※2 単位数に関わらず、**科目数**を記入してください。

大学院生で修士と博士の成績がある人は、修士と博士を合算した科目数を記入してください。

※3 合格、認定などの評価の科目は、数には入れないでください。

※4 科目数が無記入の場合、書類不備とみなすことがあります。

※5 大学院修士2年生以上の方は、①、②、両方の表を埋めてください。

※6 大学1年生の方は、高校3年間に履修した全科目が対象です。

1～3年の全科目数を評価ごとに記入してください。